

## 佐野市生活排水処理基本計画（第3次改定）（案）に対する意見募集の結果について

### 1 パブリック・コメントの概況

#### (1) 意見募集期間

令和4年12月21日（水）～令和5年1月20日（金） 31日間

#### (2) 意見提出者等

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	団体	計
				4	7		11

#### (3) 提出方法の内訳

郵送	ファックス	Eメール	その他	計
			11	11

### 2 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>・第1章基本方針の背景から石塚町のうち市道1-17号線沿いは、古来より社寺仏閣が点在し、住宅が密集している。しかし、公共下水道は未整備であり、今後の計画も未定である。ついては、公共下水道全体計画区域に石塚町のうち当該区域分の追加、さらに整備区域にも相応の追加をお願いしたい。</p> <p>・3ページ目に「持続可能な開発目標(SDGs)」を推進するとあるが、我が石塚町にあっては、公共下水道設置事業については取り残されているように思う。なぜならば、近隣町会はすでに設置済みだからである。しかし、密集住宅地域でありながら石塚町の一部だけにしか公共下水道が設置されていない。このような状況から生活雑排水は土壌や農業用水汚染へと影響を及ぼしていると考えられる。したがって、石</p>	<p>公共下水道区域につきましては、佐野市生活排水処理構想により定めております。前回、平成27年度に佐野市生活排水処理構想を改定した際、市内における公共下水道の事業計画がない市街化調整区域は、公共下水道全体計画区域から除外しております。したがって、現在、石塚町の当該区域は公共下水道区域ではございません。</p> <p>公共下水道区域外の地域におきましては、合併処理浄化槽による生活排水の処理をお願いしております。合併処理浄化槽は、風呂、トイレ、台所等からの雑排水を浄化し、排水されます。適切に維持管理を行えば下水処理場並みの処理が可能です。現在本市では、単独処理浄化槽又は汲取り便槽から合併処理浄化槽へ転換する場合には補助金を交付しており、補助金等の活用を図りながら、今後もより一層の普及促進に努めて参ります。</p>

塚町密集地域全体の面積分を公共下水道全体計画区域及び整備区域に追加してもらいたい。

・第1章基本方針の内容については理解、納得するところであるが、我が石塚町のほとんどが公共下水道の事業計画にないのが不自然に感じる。近年の佐野市の社会情勢や施策方針を鑑みるならば、佐野田沼インター産業団地は完売され、出流原PA周辺総合物流開発整備も予定されており、近い将来は自然災害リスクが低く高級住宅地としての可能性を秘めているのは石塚町地域であると考え。したがって、公共下水道を整備していただきたく、公共下水道全体計画区域及び整備区域に当該区域分を追加してもらいたい。

・第1章基本方針の背景から石塚町においては住宅密集地でありながら、公共下水道は未整備で今後の計画も未定である。したがって、石塚町当該区域分を公共下水道全体計画区域に追加し、さらに整備区域にも相応の追加をお願いしたい。

・第1章基本方針を踏まえて、我が石塚町においては基本方針から乖離していると思われる。なぜならば、この地域は集落が密集し、現代に至っている歴史があるからである。ゆえに快適に文化的生活の維持向上のためにも上水道はもとより公共下水道整備が必須条件であると考え。したがって、石塚町当該区域分を公共下水道全体計画区域に追加し、さらに整備区域にも相応の追加をお願いしたい。

・現在石塚町においては、生活排水の処理として浸透式方式により地中に浸み込ませている状況もある。また、石塚町下流近隣地域に位置する所に小中浄水場があり、

	<p>市の沢浄水場を經由して赤見全域に給水している。これらの状況から公共下水道全体計画区域及び整備区域に石塚町当該区域分の面積の追加をお願いしたい。</p>	
--	--	--